

山びこ

YAMABIKO

2023
(令和5年)

7月号
▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶



東葛山の会

No. 548

7月・8月 予定表	1
6月例会出席者・5月山行実績&コメント	2～6
第47回定期総会議事録	7～8
山行案内（7月・8月・9月）	9～12
山行報告	
・ 野田の街歩き（野澤）	13
・ 赤岳鉱泉（岡田）	14
・ 日光半月山（金子）	15
・ 戦場ヶ原自然研究路・女峰山（蓮見）	16～17
・ 籠岩山（岡田）	18
・ 茂来山・御座山（江崎）	19～20
・ 鹿俣山（富永）	21
・ 尼ヶ禿山に登って（清水）	22
・ 昭和村便り(4)・（井上順）	23
・ 短歌 玉原高原（羽鳥）	24
思い出の山（岡部）	25
ちょっと一言（富永・佐藤）	26～27

表紙写真紹介

今季最後の雪山をと日帰りで…（2023年4月22日）
まだ上部は残雪と思い冬装備、そして頂上に着いたら上越の山並みをバックに、雪のテーブルを造り、コーヒータンクでもとスコップ迄用意したが、山頂は春山だった。

期待を裏切られての記念に撮りました。（左端の山は平標山）

～安田甚二～

会報部からのお願い <表紙写真>

8月号は松本政斎さん、9月号は鈴木隆司さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（桐生）へ提出して下さるようお願いいたします。

予定表 2023年7月・8月

日	曜日	7月	日	曜日	8月
1	土	岩菅山・志賀山(6/30～7/1)	1	火	
2	日	霧降高原・キスゲ平(雨天中止)	2	水	山行部会(18:00～)
3	月		3	木	
4	火		4	金	
5	水	山行部会(18:00～)	5	土	鎌ヶ谷市民の森キャンプ講習
6	木		6	日	
7	金		7	月	
8	土	平標山(雨天中止)	8	火	
9	日	例会(14:00～16:00)	9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	山の日
12	水		12	土	
13	木		13	日	例会中止
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	運営委員会
17	月	海の日	17	木	
18	火		18	金	
19	水	運営委員会	19	土	
20	木		20	日	
21	金		21	月	
22	土	榛名富士	22	火	
23	日	〃の予備日	23	水	
24	月		24	木	
25	火	編集会議(10:00～12:00)	25	金	
26	水		26	土	八島ヶ原湿原・車山
27	木		27	日	
28	金		28	月	
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	

※2023年9月山行予定

★9/1(金)飯盛山

★9/9(土)荒船山 ★9/24(日)高麗峠～天覧山

※県連より ★エベレスト街道トレッキング(10/25～11/4)

★カラパタールとゴキョピーク登頂(10/25～11/12)

6月例会出席者 2023/6/11 34名

手塚、安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、小林、伏見、前田延、山岡、村田、入江、五十嵐朝、四元、三橋、石塚、菊池、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、赤塚、菅谷、山口洋、蓮見、菅原、清水、畑中、柳、岡登、伊藤、野澤、富永

2023年5月 山行実績 & コメント

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	難台山(なんだいさん)	ハ	5/1	個	1	菅谷
<p>参考 馬込沢(6:57)→柏(7:22-7:31)→羽鳥(8:34-9:05)→関鉄グリーンバス→恋瀬小学校前(9:31)…道祖神峠(10:30-10:45)…難台山(11:30-12:00)…団子石峠(12:30)…南山展望台(13:00-13:10)…愛宕山駐車場(13:30)…岩間駅(14:00-14:28)→柏(15:52)→馬込沢</p> <p>45周年記念山行と同じコースを歩いた。記念山行は4月9日で山桜、カタクリなどが咲いていたが、今回花は少なかった。しかし、好天に新緑が映えていて、わずか1月違いで山の様相が変わるものだと感じた。日焼けと暑さに責められながら、たくさんの会員が、集合場所を目指して歩いていたことを懐かしく感じながら歩いて来た。(菅谷)</p>						
2	半月山(はんげつやま)から 茶ノ木平(ちやのきだいら)	ハ	5/2 ~3	個	1	安彦
<p>下見に車で行きました。先ず、定宿の『道の駅:日光』で車中泊し、翌早朝5時過ぎに中禅寺湖畔の駐車場に着きました。しかし、どの駐車場も満車で、やっと『中禅寺湖スカイライン』のゲート手前の『おもいやり駐車場』に停めることができました。漁が解禁になり、釣り客が深夜から押し寄せていたようでした。朝食を摂り湖畔を進み、『狸窪』から『半月峠』を経て『半月山展望台』へ。『逆さ男体山』や雪を抱いた『日光白根山』、そして『富士山』などを堪能できました。</p> <p>下見ということで、『半月山駐車場』を往復後、『半月山』を通り『中禅寺湖展望台』で昼食休憩。『狸山』を通り『茶ノ木平展望台』へ。更に、茶ノ木平から『華厳の滝観瀑台』を往復し、茶ノ木平ロープウェイ山頂駅跡広場で大きな男体山を目に焼き付け、中宮祠に下り、『中禅寺温泉バスターミナル』へ。バス事情などを調べ、駐車場に戻りました。</p> <p>『アカヤシオ』が例年より10日ほど早く咲いたことや、霜が降りたこともあり、色褪せた花もありましたが、何とか見ごろを満喫できました。本番は、『シロヤシオ』が見ごろであることを願って帰路に着きました。(安彦)</p>						
3	榛名富士(はるなふじ) (下見)	ハ	5/5	個	4	菊池、畑中、山口洋、山口幸
<p>7月山行の下見です。ユウスゲの開花時期なので、ユウスゲを見て帰るコースを検討したところ、可能になった。もしかしたら、ホテルも見られないかと期待している。(山口洋)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
4	薬師岳(やくしだけ)・地蔵岳(じぞうだけ)	ハ	5/10	個	4	安田、桐生、江崎、菅谷
<p>参考 馬込沢(5:20)→春日部(6:29-6:43)→東武日光(8:18-8:30)→タクシー→細尾峠(9:00-9:15)…薬師岳(10:15)…三つ目(夕日岳分岐)(11:40)…地蔵岳(11:55-12:45)…ハガタテ平(13:20)…古峰神社(15:15-15:45)→バス→新鹿沼(16:35)→春日部→柏→馬込沢</p> <p>細尾峠から上り始めるとすぐにミツバツツジが咲いている。このあとずっとシロヤシオと一緒に登山道を彩りつづけていた。同行者によると大当たりだそうである。晴れた空に日光白根の残雪が輝いて見える。途中まで一緒だった登山者は、地蔵岳を過ぎるといなくなった。細尾峠に置いた車に戻るためだろう。ハガタテ平から古峰神社に下る道は、伐採のための林道で形が全く変わってしまっていて、よく注意していけば大丈夫だが、地図を見て沢に平行に下ることが肝要である。新鹿沼でニラそばと新名物として売り出しているシュウマイを食べて帰った。なかなかいい日であった。(菅谷)</p>						
5	赤城・黒檜山(くろびやま)	ハ	5/10	個	1	井上順
<p>黒檜山登山口ー駒ヶ岳分岐ー黒檜山ー展望地ー駒ヶ岳ー鉄の階段ー駒ヶ岳登山口</p> <p>赤城の山の初挑戦に最高峰・黒檜山(1827m、標高差470m)を選んだ。登山口からいきなり大きな岩だらけの急登。稜線迄はひたすら登るだけ。2時間20分掛けてやっと稜線へ(コースタイム;1:30、赤城観光協会マップ 2:00)。稜線へ出ると登りの苦労は嘘のよう。なだらかなアップダウン。展望地から我が家を探したが見つからず。家からは黒檜の山頂が良く見えるのにナー…。展望良好な稜線を南に下り、駒ヶ岳を過ぎ、分岐の手前で昼食。なだらかな広々とした斜面で、眼下に桐生の山々を眺めながらホッと出来るひと時。気分爽快。下りは標高差300mの急斜面に作られた鉄の階段を転がり落ちないように慎重に。久々の歩きがいのある5時間でした。次回は、鉄の階段を避けて、覚満淵に下るコースにしてみよう。(井上順)</p>						
6	日光 明智平(あけちだいら)・箆岩(かごいわ)・茶ノ木平(ちやのきだいら)	ハ	5/18	個	2	蓮見、金子
<p>明智平ロープウェイ展望台→茶ノ木平・明智平分岐→細尾峠へ向う道(途中に「箆石」がある)→途中でUターン→茶ノ木平・明智平分岐→茶ノ木平→中禅寺温泉バス停</p> <p>日光の花の情報を聞き、歩いたことのないルートを行ってみることにした。細尾峠へ向う道は、満開のシロヤシオのトンネルがずっと続き、ミツバツツジもその中に点々とあり、今まで見たことのないような花の道だった。「箆石」は大きな四角い竹箆のような形の岩が重なって立っているが、標識はない。この暑さで翌週の半月山会山行の時までに花が散ってしまわないか心配になった。(蓮見)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
7	醤油のふるさと 野田の街歩き	ウ	5/18	会	23	安彦、入江、山岡、手塚、松本、加藤、岡部、村上、八巻、前田延、村田、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、三橋、嶋本、菊池、猪狩、羽鳥、山脇、菅谷、山口洋、野澤 他1名
<p>・ ボランティア団体の『むらさきの里 野田ガイドの会』に、2021年3月に入会し、1年間の研修を受け、昨年2022年5月より独り立ちするように言われましたが、コロナ禍ということで、お客様が極めて少なく、ガイドの実践を十分にできないままに時だけが過ぎて今日までできました。ということで、皆さんにはガイド練習のお相手をしていただき感謝しています。</p> <p>当日は、真夏と勘違いするほどの暑さで、午後の予定を止めたほどでした。当初予定していたコースを案内できなかったことが心残りでしたが、またの機会に是非尋ねていただければ嬉しい限りです。</p> <p>案内したのは、野田町駅舎跡、茂木本家美術館、キッコーマン第1給水塔跡、茂木七郎治邸、茂木本家邸、キッコーマン本社・研究所、興風会館、千秋社、茂木七郎右衛門邸正門、春風館道場、市民会館、郷土博物館などです。</p> <p>尚、昼食を摂った『野田市市民会館』は、大正13年に、醤油醸造家『茂木佐平治』氏の私邸として建てられた純和風の平屋建てです。市民の憩いの場として、また、サークルの活動の場として利用されています。更に、CM、テレビドラマ、コスプレ等の撮影や将棋のタイトル戦会場として広く利用されています。(安彦)</p> <p>・ 本誌 山行報告 参照 (野澤)</p>						
8	足利 大坊山(だいぼうやま) ～大小山(だいしょうやま)	ハ	5/20	個	4	安田、桐生、江崎、嶋本
<p>ツツジやアオダモの花が終わった時期に、訓練山行として歩いた。ハイカーも少なく静かな山道を気持ちよく歩けた。コースタイムで歩けたことにホッとした。(桐生)</p>						
9	札幌市 藻岩山(もいわやま)	ハ	5/20	個	1	羽鳥
<p>かつて勤務した札幌でOB会がありましたので、その日程に合わせて藻岩山に登ってきました。531mの市民の山です。大都会に原始林があります。今回の感想は「やまびこ6月号」に書きましたのでご覧ください。(羽鳥)</p>						
10	南八ヶ岳(赤岳鉱泉) / 登山 技術講習会 初級編	ハ	5/20 ～21	個	1	岡田
<p>・ 本誌 山行報告 参照 (岡田)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
11	磯根海岸波打ちぎわ クリーンハイク	ハ	5/21	県	1	蓮見
<p>県連自然保護委員会が開催する、海岸でのクリーンハイクに参加した。参加者は12名。 JR佐貫町駅・・・佐貫亀田大坪地区・・・磯根海岸・・・大貫漁港・・・大貫駅 委員の方が用意したボランティア専用のごみ袋と持参したトンゴで、約3時間かけて回収、合計70キロ以上になったようだ。ペットボトル、空き缶空き瓶、発泡スチロールなど、ヘルメットまであった。ごみ集積場のある大貫漁港近くまで運ぶのも大変だった。始めてすぐにたくさんのごみが集まったので、落ちているもので天秤棒を作り、ごみ袋を前後にぶら下げ運ぶなんて、さすが山の人は工夫するのが上手いな、と感心した。背負子を持参した方もいて、みなさんの熱意がすごかった。(蓮見)</p>						
12	日光 半月山(はんげつさん) から茶ノ木平(ちゃのきだいら)	ハ	5/24	会	31	手塚、安彦、加藤、桐生、伏見、前田延、村田、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、五十嵐幸、四元、江崎、石塚、嶋本、菊池、猪狩、羽鳥、山脇、菅谷、山口洋、蓮見、井上順、清水、畑中、金子、柳、岡登、岡田、伊藤、佐藤
<p>・思っていた以上に『シロヤシオ』のオンパレードで、感嘆の声が絶えませんでした。心残りとしては、『半月山展望台』から『逆さ男体山』を見ることができなかったことですかね。チョット風がありましたね。残念！ 全てが順調に進み、東武日光駅に予定していた時刻に着くことができ、一安心しました。しかし、東武鉄道が人身事故で運転見合わせ中でした。運転再開時間が分からないので、駅で解散としました。私は、JRで宇都宮駅へ行き、東北線に乗換え、更に久喜駅で東武線に乗換え帰宅しました。お疲れさまでした。(安彦)</p> <p>・本誌 山行報告 参照 (金子)</p>						
13	尾瀬ヶ原(おぜがはら)	ハ	5/25	個	5	猪狩、柳、佐藤、清水、他1名
<p>・半月山会山行の翌日、水芭蕉を求めて尾瀬ヶ原に行きました。OB木村さんも参加しての尾瀬山行でした。霜の被害の水芭蕉はしおれ気味でしたが、それでも天気も良く久しぶりの尾瀬を堪能致しました。前日は井上宅に宿泊し、皆で鍋を囲んでのディナータイムが一番楽しかったですね！(清水)</p> <p>・例年であれば5月末～6月初旬は水芭蕉の見頃と言う事で大いに期待し、張り切って行きましたが”残念見事に外れました” 今年例年より10日位は早かった事と運が悪く前日に尾瀬ヶ原一帯に雪交じりのみぞれに見舞われ残り少ない水芭蕉の花びらが傷つき黒ずんでしまっていた。リュウキンカの黄色い花が所々でかたまって咲いていたが尾瀬ヶ原一帯は芽吹き前で茶色の湿地帯であった。(猪狩)</p>						
14	小川山・廻り目平 東京都山岳連盟トレッキング スクール 春山編実技3	ハ	5/27 ～28	個	1	岡田
<p>5月27日(土)～28日(日)1泊2日で岩場の通過訓練へ行ってきました。1日目は10:15廻り目キャンプ場に到着し、カモシカ登山道で岩場とハシゴを訓練しました。2日目は6:30宿泊場の岩根荘を出発し、廻り目キャンプ地→カモシカ登山道→小川山→15:30廻り目キャンプ場へ到着しました。セルフビレイやカラビナやプルー・ジックコードの取り扱いを実践訓練しました。「日本のヨセミテ」と呼ばれている場所らしく、お天気良くきれいな景色が見られました。(岡田)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
15	高柄山(たかつかやま)	ハ	5/31	個	2	安田、菅谷
<p>参考 馬込沢(6:21)→船橋(6:28-6:36)→高尾(8:05-8:25)→四方津(8:50-9:00)…川合峠(9:25)…大丸山(10:30)→千足峠山(12:00)…高柄山(12:15-13:00)…新矢野根峠(13:40)…御前山分岐(14:20)…上野原(16:00)→高尾→船橋→馬込沢</p> <p>梅雨っぽい日がつづく日々天候が保ちそうだったので出かけた。駅から駅のハイキングで便利そうだが、全く人に会わない。ほととぎすや鶯などのさえずりだけが聞こえる、実に静かな山歩きである。また、しっかり道標がついて整備がされている。しかし、道が崩れていたり、新しい林道が作られていたりとあちこち迂回路を回らなければならない。けっこう時間がかかり、御前山の山頂をカットしたが、カットしなかった方が早かったかもしれない。(菅谷)</p>						
16	戦場ヶ原自然研究路・女峰山(によほうさん)	ハ	5/31 ~6/1	個	2	蓮見、金子
<p>本誌 山行報告 参照 (蓮見)</p>						

5月の会山行「行道山」は雨天のために中止しました。

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウオーキング 沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り
雪…雪山・スキー



6月11日 総会風景



第47回定期総会議事録

書記 村上、石塚

日時 2023年6月11日（日）13:00～15:00

場所 鎌ヶ谷市中央公民館（学習室1）

議長・書記の選出

議長に清水、書記に村上、石塚

会長挨拶 安彦

出席状況報告（事務局）

「会員51名中、出席者36名、委任状11名、欠席者4名で総会成立」が報告された。

<議事>（議案書参照）

議案1（2022年度活動報告）

事務局（四元）、山行部（菅谷）、会報部（桐生）、県連（羽鳥）より報告された。

議案2（2022年度会計報告）

会計（岡部）より2022年度会計収支決算が報告された。

議案3（監査報告）

監査した結果、会計収支決算に相違ないことが報告された。（村上）

質疑応答（議案1、2、3について）

特に質問が生まれませんでした。

採択：（挙手）

『議案1、2、3』は、満場一致で承認可決された。

議案4（2023年度活動方針案）

事務局（四元）、山行部（菅谷）、会報部（桐生）、県連（羽鳥）より各案が提案された。

議案5（2023年度予算案）

会計（岡部）より2023年度予算（案）が提案された。

質疑応答（議案4、5について）

1) 新人育成について

Q:事務局で新人の育成を行ったのか？ 育成担当者はあるのか？（入江）

A1:事務局としては、担当者を決めていませんし、育成も行ってきませんでした。

但し、新人が会になじめるようなフォローは行ってきました。（四元、清水）

A2:山行部では新人担当者を決めています。今後さらに、事務局と山行部の連携を強化し、フォローと育成を行っていきます。(菅谷)

2) 山行部活動報告の表 (5 ページ) の年度について

Q:表 (5 ページ) の年度が間違えているのでは…? (柳)

A:明らかに間違っているので、次のように修正します。(菅谷)

2021 年度 → 2020 年度、2022 年度 → 2021 年度、2023 年度 → 2022 年度

3) 会報への投稿について

意見:山行記事が書きにくい時、インタビュー形式にしてみてもどうか? (菅谷)

A:山に行った時に、さりげなくインタビューして会報に載せたいと思います。

山に限らず、紀行文等も寄せて欲しいです。感想文は、手書きでも良いので多くの投稿をお待ちしています。(桐生)

4) 山行年間予定・担当者について

意見:1年間の計画の空欄を埋めてほしい。(松本)

A:会員が1年間に2回担当し、一度の山行に3~4名の担当を充てると、空欄ができてしまう。(菅谷)

意見:空いている月は、筑波山や宝篋山等の簡単な山を入れたらどうか。(羽鳥)

5) 個人山行のバス代補助について

Q:個人山行でもバス代の補助はありますか? (会計:岡部)

A:会山行に準じた計画ならバス代補助は出ます。

但し、会山行に準じた形での山行案内・参加者募集を行うことが必要です。

具体的な要件や金額等は、会山行と同じ扱いをしたいと考えている。(安彦)

意見:同調者が少なくとも2名いて、担当者が3名は必要ではないか? (村田)

採択: (挙手)

『議案 4、5』は、上記 (2) の年度修正をして、満場一致で承認可決された。

議案6 第47期 (2023年度) 役員選出

新役員の立候補者がいないので、事務局より「役員」と「部局員」などが提案され、満場の拍手で承認された。

(時間の関係で、新役員の挨拶は省略された。)

議長・書記解任

閉会

山行案内

7月の山行予定

***霧降高原、キスゲ平園地と小丸山 ゆるい（全会員対象）：（体☆）**

日 程：7月2日（日） 雨天中止

担当：（CL）五十嵐（朝）、（SL）小林・五十嵐（幸）

***平標山（たいらっぴょうやま）（体☆☆☆）**

日 程：7月8日（土） 雨天中止 2～3日前に連絡

担 当：（CL）菅谷、（SL）蓮見、岡田

***榛名富士（はるなふじ）（1390.7m） ゆるい山（体☆）**

日 程：7月22日（土） 予備日7月23日（日）

担 当：（CL）菊池、（SL）山口・畑中

8月の山行予定

***2023 市民の森 デイキャンプ登山講習（全会員対象）**

場 所：鎌ヶ谷市民の森キャンプ場 鎌ヶ谷市中沢767-1

日 程：8月5日（土）～6日（日）

集 合：6日9：30（キャンプ希望者5日から）

5日（土）：11：00～ キャンプ（テント泊希望者）

6日（日）：9：30～16：00（登山講習）

山筋ゴーゴー体操・三角巾の使用法・7点セットの使い方

ロープワーク・危険個所の通過・事故発生時の対処

レスキューシート活用法・ツェルト活用法

アドバイス（装備等）

三角巾・労山7点セット・ツェルト・エマージェンシーシート

（他にもサバイバルシート・レスキューシート・ビバークシート

アルミブランケット同じ物）

7点セット、ツェルトなどまだ持っていない人は当日皆さんの道具を確認してから購入して下さい。三角巾は薬福太郎、レスキューシートはホームセンターなどで売っています。

※ 市民の森キャンプ場の入り口のセブンイレブン

鎌ヶ谷市中沢 776-7 電話 047-441-2077

その他：昼食 1 食

担 当：(CL) 赤塚、(SL) 菅谷

やしまがはらしつげん きりがみね くるまやま

＊八島ヶ原湿原～霧ヶ峰(車山 1,925m)標高差 313m (体☆危★)

夏の八島ヶ原湿原を周遊し山小屋に一泊。翌日は霧ヶ峰(車山)に登る

日 程 8月26日(土)～27日(日)一泊二日

(1日目) 歩行時間:約4時間

船橋 6:53 (あずさ 3 号) → 9:57 上諏訪 西口バス停 (アルピコ交通) 10:35 →
沢渡 11:14・・・宿 11:20 昼食 出発 12:30・・・八島湿原ビジターセンター
14:30・・・鎌ヶ池キャンプ場跡 15:30・・・沢渡 16:30・・・宿 16:35

(2日目) 歩行時間:約5時間

朝食 6:00・・・沢渡 7:00・・・鎌ヶ池キャンプ場跡 8:00・・・物見岩 9:00・・・
蝶々深山 9:30・・・車山乗越 10:00・・・車山山頂 10:30/11:00・・・ころぼっ
くるひゅって 12:00・・・車山肩バス停 12:53 → 沢渡—霧ヶ峰 IC → 上諏訪駅西
口 13:50・・・日帰りの湯「片倉館」 14:00・・・上諏訪駅 15:30 (あずさ 42 号)
→ 18:07 新宿 → 19:00 頃船橋

宿泊先「ヒュッテ ジャベル」(コロナ対応で上限 15 人)創業 昭和 27 年

概算費用 主な支出

・宿代：一泊二食	約 10,000 円
・電車：船橋～上諏訪往復(ジパング利用で)	約 9,000 円
・バス：上諏訪～沢渡、車山肩～上諏訪	約 2,700 円
・日帰りの湯	750 円 上諏訪「片倉館」
合計	約 22,450 円

その他

- ・宿はコロナ対応で上限 15 人。参加者が上限を超えた場合は抽選とする。
- ・宿のキャンセル料は 3 日前から発生する。
- ・参加者は夏休み期間のため特急「指定券」は早めに購入する。
- ・コロナ禍が拡大した場合は宿が営業中止のため会山行は中止とする。
- ・週間天気予報で予定日が悪天候の場合は中止する

担 当：(CL) 羽鳥、(SL) 嶋本・四元・岡登

9月の山行予定

*飯盛山 (1645m) ゆるい山 (体☆)

山頂から360度の展望です。秋の花々を楽しめます。

日程：9月1日(金) 雨天中止

船橋 集合、船橋 解散。

交通

往路：船橋6:53(あずさ3号松本行) —9:36小淵沢 10:07—清里駅 10:32 着
(タクシー10分) —平沢登山口

復路：野辺山 17:02—17:33小淵沢 18:08(あずさ50号千葉行) —船橋
20:39着

山の特徴(危険)：危険もなくゆるい山コースです。

コース：平沢登山口…(1:00)…東屋…(1:00)…山頂…(0:45)…平沢峠…
(1:00)…野辺山駅

歩程：標高差500m コースタイム 5時間(休憩を含む)

交通費概算：10,000円位

担当：(CL) 伏見、(SL) 五十嵐・梅田・伊藤

*荒船山 (☆☆)

独特の山容で見る者に好奇の念を沸かさずにはいられない。

登山道は道標などが整備され安心して登れる。高さ200メートルのトモ岩からは蓼科山、浅間山、黒斑山、遠くに北アルプス、さらに草津方面や上信越の山々など一大パノラマが堪能できる。

日程：9月9日(土) 雨天中止

出発・集合 鎌ヶ谷市役所 5時30分 鎌ヶ谷観光バス

鎌ヶ谷市役所 5:30 == 高坂 SA == 9:00 荒船山・内山登山口 == 14:00 出発
== 高坂 SA == 鎌ヶ谷市役所 18:00 着

コース

登山口…1:00 鉾岩修験道場跡…40 トモ岩…40 経塚山分岐…0:10…経塚山…0:10…

経塚山分岐…40 トモ岩…1:10 登山口

上り 2:30 下り 2:10 4時間30分

標高差：342.5m (登山口にトイレあり・コースにあるトイレは使用できない)

※ハイキング時間が5時間のため、ゆっくり歩きたい人は経塚山には行かないで、1356m地点までとする。

鎌ヶ谷観光マイクロバス (22名)

費用：124,860円 ÷ 参加人数 (参考15名参加8324円)

担当：CL 桐生 SL 手塚、菊池、山脇

* 高麗峠～天覧山 (197m) ウォーキング (体 ☆)

彼岸花の咲く巾着田から、関東平野を見下ろす天覧山へと歩く。

日 程：9月24日(日) 雨天中止

集 合：高麗駅 8:45

解 散：能仁寺辺で 15:00 頃

往 路：①新鎌ヶ谷 6:06—6:18 八柱・・・新八柱 6:34 (武蔵野線) —7:26 新秋津・・・
秋津 7:45 (池袋線・飯能行) —8:16 飯能 8:25 (秩父行) —8:33 高麗
②船橋 6:30 (総武線・中野行) —7:02 御茶ノ水 7:11 (東京メトロ丸の内線・
池袋行) 7:22 池袋 7:35 (急・飯能行) —8:24 飯能 8:25 (秩父行) —
8:33 高麗
③新鎌ヶ谷 6:06—6:25 松戸 6:33 (上野行) —6:49 日暮里 6:55—7:08 池
袋 7:20 (準・飯能行) —8:16 飯能 8:25 (秩父行) —8:33 高麗

復 路：往路を戻る。(電車はたくさん出ている)

コース 高麗駅…巾着田…高麗峠…ほほえみの丘(昼食)…天覧山…能仁寺

※バスで飯能駅まで行く。

天覧山下・バスの時間：

13:28・59	14:45	15:14・45	16:15・46
----------	-------	----------	----------

歩行時間約 4時間

概算費用：交通費 約3000円 巾着田 入園料 500円

✿山の特徴：彼岸花は9月中旬～下旬に咲くが気候によって変わることもある。

その他： 昼食1食 虫よけスプレーがあると良い。

担 当： (CL) 山口洋、(SL) 山岡・猪狩

県連関係予定行事

エベレスト街道トレッキング&5000m峰2座登頂

日 程

①エベレスト街道トレッキング

10月25日(水)～11月4日(土) <11日間>

②カラパタルとゴキョピーク登頂 10月25日(水)～11月13日(月) <20日間>

詳細は『千葉ニュース6月号』を参照してください。

醤油のふるさと野田の街歩き

日 程：5月18日（木）

参加者：安彦、入江、山岡、手塚、松本、加藤、岡部、村上、八巻、前田延、
村田、間瀬、鈴木（か）、五十嵐（朝）、三橋、嶋本、菊池、猪狩、山脇、
菅谷、山口（洋）、山口（幸）、野澤（記）

5月18日、醤油のふるさと野田の街歩きに参加しました。

名ガイドの下、野田市の公共建築、キッコーマン本社、茂木家ゆかりの邸宅等を見学しました。昼食は、野田市市民会館の部屋を借りて食べました。市民会館は、醤油醸造で知られた、茂木佐平治の旧宅で純和風の建物です。将棋の竜王戦や吉永小百合がアクオスのCMで使用したのは「松の間」になります。

和室から望む庭園は、国登録記念物になります。私がこのウォーキングに参加した目的も、「この和室で庭園を眺めながら、ご飯食べたいなあ」からでした。大正モダンの香りあふれる邸宅と手入れの行き届いた奥行きのある庭園を眺めながらの食事は、コンビニのサンドイッチやおにぎりでも、ちょっと贅沢な気分になってくれました。

お昼休憩後は、愛宕神社や清水公園を回る予定でしたが、天候に恵まれすぎ、午後1時の気温が34度。熱中症や身体への負担を考慮して、市民会館となりの郷土資料館を見学して終了となりました。



赤岳鉱泉へ

日程：5月20日（土）～21日（日）

メンバー：岡田友子（記）

5月20日（土）から1泊で赤岳鉱泉へ小林美智子岳看護師事務所の基本登山技術講習会の初級編へ行ってきました。

1日目は10時に美濃戸口に集合しました。目的地の赤岳鉱泉まで地図読みをして、現在地と地図を見比べたりコンパスを使って方角を確認したり等高線や地形の地図を見て確認しながら登山道を歩きました。いつも持ち歩いている「山と高原地図」の1：50,000の地図ではなく、1：25,000の地図での地図読みで細かくじっくりと地図を見たのははじめてのことでした。コンパスを磁北線に合わせたり、地図を見てNを合わせたりするのですが、地図読みを身につけるにはまだまだ訓練が必要で、これを機に地図読みについて勉強していかなければならないと思いました。

赤岳鉱泉に到着後はビバークの技術実践で各自持参したツェルトをそれぞれで設置しました。制限時間が20分、同行者が体調不良で動けない、日没間近、という設定の課題が出されました。今回の講習会に合わせて買ったばかりのツェルトで初設置となりました。設置場所を探すのにさえ一苦労、安全な場所を選ぶとか、風に耐えられるのかとか、無事に一晚耐えられるものなのかと、1人1台たてたツェルトを皆で評価しました。ツェルトさえ持っていたら助かっていた命は事故報告書を見るといくらでもあるということで、ツェルトはやはり持ち歩くべきものなんだと学びました。



2日目は危険地帯の通過実践でロープワークを訓練しました。セルフビレイ、エイトノット、ムンターヒッチ、グローブヒッチだけはおぼえて行きました。はじめてロープワーク講習を山行部の講習で受けてから約1年、やっとおぼえられました。ロープを使って山に行くなんて1年前は思いもしないことでした。危険地帯を通過、引き上げてもらったり下げてもらったり、メンバーを引き上げたり下ろしたり、どちらも体験できて体感できたのは良かったです。

11時下山開始、途中展望スポットに寄ってくれて八ヶ岳の絶景が見られました。行きは北沢ルートで、帰りは南沢ルートで下山しました。

内容充実の2日間でした。

日光半月山(1,753m)

日 程：2023年5月24日(水)

参加者：手塚 安彦(CL) 加藤 桐生 伏見 前田(延) 村田 間瀬
鈴木(か) 五十嵐(朝) 五十嵐(幸) 四元 江崎 石塚 嶋本 菊池
猪狩 羽鳥 山脇 菅谷 山口 蓮見 井上(順) 清水 畑中 柳
岡登 岡田 伊藤 佐藤 金子(記) 計 31名

8:30 東武日光駅待合室集合

はぎわら観光中型バスにて27名出発。歌ヶ浜駐車場休憩時4名と合流

9:30 半月山駐車場

9:50 4グループに分かれハイキング開始

10:20 半月山展望台

10:30 半月山

11:30 中禅寺湖展望台 昼休憩+集合写真

15:00 中禅寺温泉バス停

願いが通じたのでしょうか。風は冷たかったが、天候に恵まれた。青空のもとハイキング開始より30分程で半月山展望台へ。男体山を望む。期待のシロヤシオはまだちらほら。さらに10分程で半月山登頂。アカヤシオは完全に終わっていたが、その後の道中は思いの外たくさんのシロヤシオがまだ美しい姿で待っていてくれた。



昼休憩後、狸山(たぬきと書いてむじなやま)を經由し茶ノ木平へ向かう。時々赤い山ミツバツツジも残っており、白とのコントラストがきれいだった。ほぼ予定通りに中禅寺温泉バス停へ到着。先に着いていたグループが臨時バスの交渉をしてくれていたようだ。有難い。

無事路線バスにて東武日光駅。が、人身事故の影響で東武電車が動いていない！仕方なくJRにて帰るが、諦めず待っていた何人かは予定の電車に乗れたそう。しかし全員無事に下山でき、安彦さんならではの交渉術で初めてのバス会社利用も滞りなく進み、大変良い経験になりました。ありがとうございました。



戦場ヶ原自然研究路・女峰山

金子・蓮見（記）

（日 程） 5月31日（水）～6月1日（木）

（交通費） まるごと日光東武グループバス 新鎌ヶ谷駅 4810 円、鎌ヶ谷駅 5060 円

（宿 泊） すぎもと館 1泊おにぎり弁当付き 6000 円

（送迎代） 志津乗越まで 1台 2500 円

当初天気予報は悪かったが、出発3日前頃から変わってきたので予定通り実行できた。

（行 程）

1 日目

東武日光駅バス 9:45→10:30 中禅寺温泉 宿に荷物デポ

中禅寺温泉 10:55→11:20 湯滝入口・・・戦場ヶ原自然研究路・・・竜頭の滝バ

ス停 15:11→15:30 中禅寺温泉

2 日目

4:30 宿出発→志津乗越 5:00・・・馬立 6:20・・・8:15 唐沢避難小屋 8:40・・・

9:10 女峰山 9:25・・・10:50 一里ヶ曾根独標 11:00・・・赤薙奥社・・・12:30

赤薙山 12:50・・・小丸山 13:40・・・14:10 霧降高原バス停 15:12→15:38

東武日光駅 16:06

（感 想）

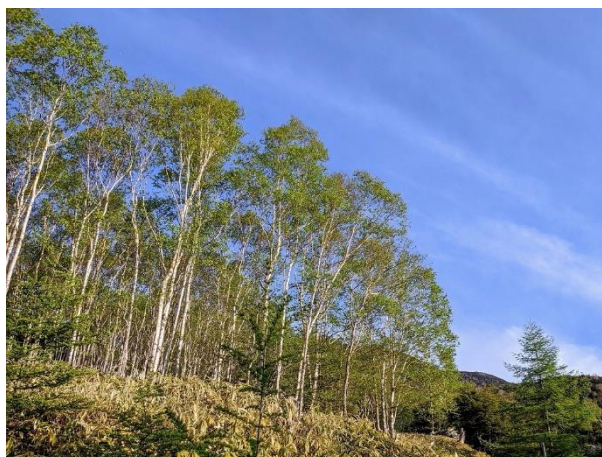
1 日目

中禅寺温泉バス停近くにある「山の宿すぎもと館」に荷物デポ。清潔な宿だが夕食はないので、事前に駅近くのコンビニで購入した。

湯滝から竜頭の滝まで、気持ちのいいハイキングコースで戦場ヶ原自然研究路では林間学校？の小学生大勢と行き会った。竜頭の滝付近はつつじが花盛りだった。

2 日目

晴れ。おにぎり弁当を持ち4時半出発。志津乗越まで送ってもらい、女峰山を目指し、朝日を浴びながら林道を進む。周囲の白樺の新緑が美しい。





登山道に入り熊鈴と笛で用心しながら歩き高度を上げていくと、たくさんのシャクナゲに出会った。満開でとても可愛らしい。

荒れた沢に出たら少し水が流れているので、これが水場かな、小屋の場所は分からないけどこんな所まで水汲みに来るのか？ヘルメットをかぶり、マーキングのついた大きな岩をつたって向こう岸に渡る。するとしっかり水が流れていて、ここが水場でこの上が唐沢避難小屋だと分かったが、小屋までは結構きつい登りだ。

避難小屋から山頂まで、途中急なガレ場が続く。足元の岩を落とさないよう慎重に進むが、下山でここを下りるのが不安になってくる。途中で、M大学ワンダーフォーゲル部員がここで亡くなったという慰霊プレートを見つけ、更に不安が増す。

ようやく山頂に着くと、女性が一人居たので写真を撮ってもらう。今日初めて会った登山者だ。少しするともう一人若い女性が来たが、その日に会ったのは他にいなかった。女性に話を聞くと霧降高原に駐車してピストンとのこと。登り返しは多いが特別に危険な所はないコースだということで、下山を避難小屋経由黒岩方面から霧降高原へ変更した。

山頂は360度見渡せるのだが、少し雲が出ていて残念だった。雪を抱いた遠くの山々の名前は分からないが、尾瀬の燧ヶ岳らしき山が見えた。

このコースでも用心のためヘルメットはつけたままにした。赤薙山まで数か所ロープがついている所はあったが、慎重に下りれば大丈夫だ。登山道の右方面は深い溪谷で、その上部の斜面にはいたるところにシロヤシオが咲いていて、新緑の山とのコラボが疲れた体に心地よい。また、登山道には山桜や濃いピンクのシャクナゲの蕾などなど。今日この山にいられて良かったと思う。

岩場や急な登り返しも多かったが、黙々と歩いたので赤薙山には余裕のある時刻に着いて、最終バスには十分間に合いそうだった。

長い縦走だったが、最後の霧降高原の長い下り階段が一番きつかったのかもしれない。



籠岩山へ県連の2023登山講習会へ

日程：6月4日（日）

メンバー：畑中、岡田（記）

茨城県常陸大宮市の標高501m籠岩山へ県連のロープワーク登山講習会へ行ってきました。

9時道の駅常陸大宮 かわプラザに集合し、コースは10時つつじヶ丘駐車場からスタート、釜沢越入口→釜沢越→籠岩山→籠岩→16時駐車場でした。

班分けは各会バラバラで他の会の方と同じ班になり、スタートから緊張しました。

急勾配の登山道が登ったり下ったりで、その度にロープを出して登ったり下ったり、引き上げてもらったり引き上げたりをしました。急勾配といってもほぼ垂直の場所もあり、あらためて「岩」の講習会なんだと、普段は行ったことない岩の登山道に驚きました。思わぬ「岩」との出会いでした。

ロープの結び方を主要なものは覚えて参加しましたが、更に同じ結び方でもパターンがあるということでした。

今回、垂直下降など貴重な経験をさせていただきました。

危険地帯の通過についてロープワークがスムーズに行えるようにロープワークをしっかり身につけたいと思います。

はじめは違う会の初対面の方々との班に緊張しましたが、他の班の方の活動など色々お話しを聞けたり楽しい交流となりました。

機会があればまた岩に行ってみたいと思います。



もらいさん おぐらやま
茂来山・御座山

日程：6月16日（金）～17日（土）

参加者：安田・菅谷・嶋本・江崎（記）

6/16（金）

梅雨の晴れ間をねらって山へ行きましょう。・・・と佐久平でレンタカーを借りて、小海線に沿った国道141号線を南に走り、佐久穂町の茂来山1718mに向かう。

雨も上がり霧久保橋を渡り泥道を歩き登山口へ向かった。佐久穂町の小学3年生・4年生達が遠足で登っているとのことでマイクロバスが数台止まっていた。沢沿いを登るので冷たい風が吹いて心地良い。そのうち大勢の子供達が元気よく下りて来て「おばあちゃん、頑張って」「おじいちゃん、頑張って」・・・と大きな声で応援してくれる。「ハイ、頑張るよ」何度も何度も返事をしながら子供達から元気をもらう。1時間程登ると“森の巨人たち100選・大きなトチノキこぶ太郎”それは立派でした。子供達はここまで来たのか～。

そこからは岩ゴロゴロの急坂、声も出さずヒーヒー登る。登り始めて2時間半茂来山山頂に着く。「浩宮様茂来山登山記念 昭和57年8月20日」の立派な記念碑が立っている。

天皇陛下になられて、ご自由に好きな山登りが出来ないのでしょうか。

昼食後、ピストンで宿泊地の南相木村に向かう。



6/17(土)

宿泊所の立岩湖の水面は山の緑が湖面に写ってまるで東山魁夷の絵のようでした。土曜日ということで登山口の駐車場には多くの車が止まっていた。

涸れた沢の横の登山道を御座山 2112m を目指してひたすら登る。

不動滝で一息入れ急坂を登って行くと岩場が多くなる。鎖の下がった急な岩場が……。三点確保で慎重に登る。次第に岩稜帯になり言葉少なに確実に登っていく。

シャクナゲの林もあるが花の盛りは過ぎ、ピンクの花びらが一面に落ちていた。可愛いイワカガミもあり心穏やかになる。

登り始めて2時間半山頂に着く。

岩稜の山頂！！ 何年前でしょう？ 東葛山の会の会山行で来ましたね！

梅雨の晴れ間に多くの登山者が美しい山並みを満喫している。南アルプス・甲斐駒・北岳、八ヶ岳連峰、雪が残る北アルプス、北には浅間山など 360 度の大展望を楽しむ。

ピストンで下山。下山後は気持ちの良い滝見の湯で汗を流し、旅行支援のクーポンでお土産をゲット😊2日間の素晴らしい！山旅でした。山仲間感謝です。ありがとうございました。



鹿俣山 1636m

日 程 6月17日(土)

参加者 CL 羽鳥、SL 鈴木か、桐生、清水、四元、柳、富永(記)

松戸駅に集合、清水・柳車に分乗して予定より早く玉原高原“ペンションつみすくえあ”へ到着しました。梅雨の谷間晴天に恵まれ、手元の時計を見ると22℃微風で爽やかな気候でした。

朝食と準備を済ませて、堤オーナーが登山口まで案内してくれて登山開始です。歩きだすとすぐにブナの樹林帯が広がり、一挙に我々は「森の人」になりました。高原特有の朴の木・栃の木・シナの木も随所に見られ、針葉樹ではアスナロを観察することもできました。足元にはギンリョウソウが道案内をするように登山道脇に顔を覗かせていました。

春の草花は一段落したのか、木本類のタニウツギ、亜高山帯植物ベニサラサドウダンが咲き誇っていました。山頂手前の小ピークに群生しているアズマシヤクナゲは残念ながら花が終わっていました。

山頂では、赤城山方面は望めましたが、上州武尊山は樹木が邪魔して姿を半分しか見せてくれません。

下山は、玉原高原スキー場を真っ直ぐに下りましたが、ゲレンデの中腹にあった大木(山ハンノキだと思うが、堤オーナーはシナノキ)の木陰で、玉原湖と谷川岳を眺めながら、45分贅沢な時間を過ごしました。

小生にとっては、初めての東葛山の会山行でしたが、パーティーで歩く楽しさを味わいました。



山頂於、鈴木さんはシャッターを押しています。

尼ヶ禿山に登って

2023, 6. 18

羽鳥、鈴木（か）、桐生、四元、富永、柳、清水 記

朝、目が覚めると天気は上々、少し風が出ていたが登山日和の一日の始まりでした。前日の鹿俣山に続き今日は尼ヶ禿山に登ります。泊りは、「ペンションつつみすくえあ」です。前日の程よいアルコールと美味しい料理、今日の朝食も美味しくボリュームもたっぷり！ 中々居心地の良いペンションでした。

出発は8:30、車で登山口まで行き登山開始です。当初は尼ヶ禿山に登り周回コースの予定でしたが、宿のご主人のアドバイスもありピストンする事になりました。登山口から緩やかな傾斜を歩くと熊注意の看板などがあります。ブナ林を通ると、様々な植物とさわやかな新緑に癒されます。途中の足元に生える笹が実をつけていました。60年に一度との事ですが、実をつけるとその木は一生を終えるそうです。山頂から上州の山々を堪能し、下山開始です。

途中で“ブナの湧き水”を飲み、冷えた水のおいしさに生き返るようでした。

センターハウスのある駐車場に戻って昼食を摂り、車に分乗して沼田ICを経由、無事に松戸駅に到着、解散となりました。



今回の山行は梅雨の合間の晴れ間を利用して、6月のさわやかな山を堪能した素晴らしい山旅になりました。同行の皆さんありがとうございました。

昭和村便り（４）

井上順之

ツツジで有名な赤城山は、我が家の南東、直線距離で約 10Km の所にあります。5 月から 6 月に掛けての大沼一帯は、ヤマツツジ、シロヤシオ、ミツバツツジが咲き誇り、やや遅れてレンゲツツジで幕を閉じます。登山でなくても、駐車場に車を止め、手軽に登れる小高い丘の展望台や湖畔散策をしながら、ツツジや景色を堪能する事が出来ます。

ここ白樺牧場周辺は特に有名で、平日でも駐車場は満車になります。6 月上旬、この時期限定で、普段入れない白樺牧場内のレンゲツツジ見学のツアーが有ります。広さ 95ha、10 万株のレンゲツツジがあり、朱色の絨毯を敷いたようだとの評判です。10 時から 2 時間半、ガイド付。人数 20 名限定。名前の付いた羊さん親子にも面会出来ます。ツアーの後は老舗の青木旅館等での高級（？）ご昼食。参加料金が¥4,000 なので、さぞかし美味しいものが食べられるのではないのでしょうか。高価だけど体験してみようと電話で申し込んだら、当日の申込は受付出来ませんとの返事でした。

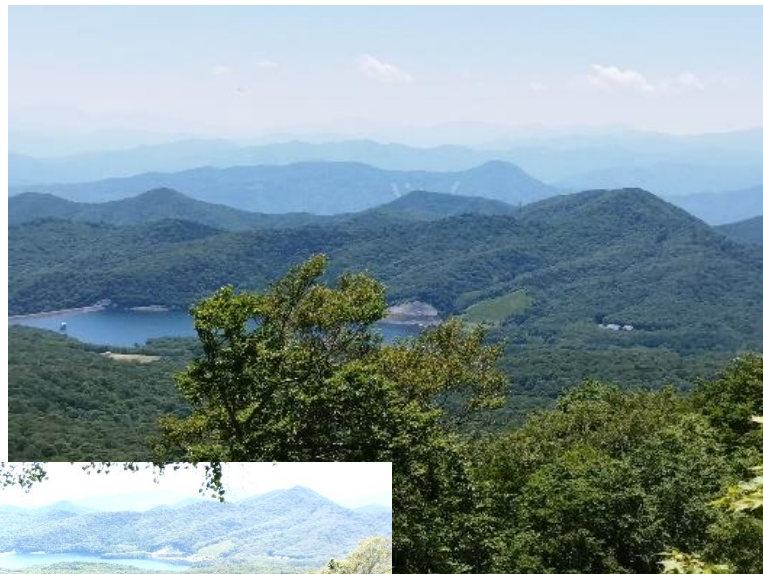
白樺牧場は旧前橋藩の牧場で、夏場牛馬を放牧していた様です。木全体に毒性のあるレンゲツツジは自らを守り、草を食べ肥料を撒いてくれる牛馬のお陰で、長い間自然の姿を守り続けて来たそうです。2018 年からは 5 頭の親羊に入れ替わり、現在はその後生まれた 3 頭の子羊と共にツツジの守役として、一生懸命草刈りと肥料撒きに奮闘（？）している様です。親子の姿が何とも可愛いとの評判です。



柵の右が白樺牧場、私は¥4,000 払わずに垣根越しにのぞき見。前方の山は、地蔵岳（1,674m） 5 月 31 日、見晴山展望台付近

羽鳥健一郎

三か月振りの玉原高原は万緑の中静まりかえる
雛菊に蔓紫陽花に九輪草「ツツミ・スクエア」花に囲まれ
博学の宿の主人は丁寧な蔓紫陽花の特性語る
ブナの木々木洩れ日浴びて光りたり鹿俣山への道はなだらか
タニウツギ梅雨の晴れ間の山肌に万緑のなか紅色の映ゆ
玉原のブナの林を進み行く眼にも優しき青葉の光る
歩を止めて見下ろす先は玉原湖背後に聳ゆる尼ヶ禿山
シニアらはリュックを下ろし足伸ばすゲレンデに吹く風の爽やか
ゲレンデにワラビの群れを見つけたり右へ左へ女子らは忙し
反り返りブナの巨木を仰ぎ見る魚眼となりてシャッターを押す
玉原の冷たき「ぶなのわきみず」をペットボトルに詰めて出発
群がりて銀竜草が顔を出す玉原の山ここに彼処に
尼ヶ禿山の いただき 頂より越後の山々に雪形の見ゆる



春、花咲く山でクスクス笑ったのは誰

子供の頃、自然の中で体を動かす喜びを知り、大人になって季節で変わる山の素顔を知りたいと思う様になった。木々が一斉に芽吹いて、淡い新緑が似合う軽井沢へ、小鳥達の歌声と頬にそっと呼び掛けるそよ風に包まれる。ピンク色のサクラソウ、青色のルリソウ、山ツツジ、クサボケ。クスクス笑ったのは誰？浅間山がキラキラと輝いていた。



8月号は桐生さん、9月号は村上さんです。前月の20日を目安に加藤まで。

ちょっと一言

45年前の自分探し登山

富永 好郎

手元に友人が撮った、山に登る若き日の私が写った1枚の白黒写真があります。しかし、写りこんだ背景を見ても・山小屋を見ても「ここがどこなのか？」思い出せません。



【1975年】

【2020年】

今から半世紀近い昭和50年（1975年）の夏、と記憶しています。

「どうせなら、北アルプスへ行こう・・・」ということになり、上野御徒町の登山用品店（トラヤ？）で登山靴、帆布ザック・ニッカポッカ・マルキル水筒・・・店員に勧められるがままに一式買い揃えました。

最初の山行は無謀にも、私も同行の友人も初心者ながら、上高地から横尾～涸沢～奥穂高～前穂高～岳沢と無事下山することが出来ました。

これに味をしめた我々が、次は「次は槍だ！、西鎌尾根を縦走しよう・・・」と、怖いもの知らずの計画をたてました。

二回目も上高地から、槍沢から槍ヶ岳には登頂したのですが、縦走の途中で靴擦れを起こし、足のまめも潰れて、痛い、痛い々々々、尾根の途中で「戻るに戻れない、ゴールはるか先の高瀬ダム、激痛の中必死の形相で歩き続けました。途中通過したはずの、双六岳・三俣蓮華岳・鷲羽岳・野口五郎岳・烏帽子のことは全く思い出せず、“痛さ”で記憶が欠落してしまいました。

ブナ立尾根を足を引きずりながら下り、バスに乗り込んだ時の“安堵”は今も覚えています。

令和2年(2020年)45年前の写真の場所を訪ねて、折立～太郎平～野口五郎岳～鷺羽岳～水晶岳へ向かいました。

2日目に三俣山荘から鷺羽岳への登り、途中後ろを振り返ると「あっ、ここだったのか!」。三俣蓮華岳・双六岳・槍ヶ岳が連なる西鎌尾根を一望できる場所で、45年前の自分をつなげることができました。

山(東葛山の会)との出会い

佐藤 賢一

きっかけは経営しているお店のお客様のお誘いでした。

当初は、山には全くと言っていいほど興味がなく、死ぬまでに一度は日本の象徴である富士山に登ってみたいぐらいでした。

そのお誘いを何年かやり過ごした後、今も継続中の趣味で、ソフトボールや釣りやランニング等々以外に、将来現役を引退した後に、有意義に老後を過ごす為にも、もう少し趣味を増やしておいた方がいいと思い、以前やっていたスキューバダイビングを、もう一度挑戦しようと思い、ダイビングショップで一度リフレッシュし、さっそくダイビングをしに行ったのですが、何故かしっくりこず、そこで以前からお誘いのあった山に行くことに決心しました。

思い切って登山用具一式買い揃え、もう後戻りできないこともありましたが、昨年11月に人生初、本格的な登山、那須岳に挑みました。

紅葉が見事で登り始めて間もなく“もや”が出て視界が悪く眺望がいまひとつでしたが、登っている間はほぼ無心で、登山のきつさが自分にとっては心地よく、一発でその魅力にはまってしまい、その翌週にはその同じルートを今度は一人で登り、天気にも恵まれて眺望もよく、登山の楽しさをより感じました。

その後登山ツアーを探して何度か参加しましたが、参加者の体力差が激しく、途中脱落者も多く、テンポも合わない事もあり、今回ベテランの方も多く安心して登山出来る会を探し東葛山の会に辿り着き入会させて頂きました。

初心を忘れずに今後も楽しく山行したいと思います。

8月号の担当は手塚さんと安彦さんです。(7月20日を目途に柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)(ヤナギ ツギホ norinatsul130@gmail.com)

編集後記

千葉駅ハイキングに参加しました。千葉駅を出発し最初に向かったのは千葉公園の大賀ハスでした。公園に着くと大勢の人、人でした。ハスの花もたくさん咲いていました。大賀ハスは1951年千葉市検見川で大賀博士によって発見された古代ハスで古い地層から発掘され発芽・生育に成功し世界最古のハスで2000年以上前のハスだそうです。いったん駅に戻り、千葉神社に向かいお参りを済ませ、千葉城へ、そこでお昼タイム。千葉城は博物館になっているので五階の展望デッキから見学、前にも来た事はあるのですが、中に入ったのは初めてです。次に向かったのは千葉寺（せんようじ）ここには県指定の天然記念物の大イチョウの木がありました。千葉寺駅から電車で帰宅。暑い日でしたので疲れしました。

八巻

梅雨時に映える花

ハンゲショウ：薄黄色の花穂が咲き始めると葉が上の方から2～3枚が緑から真っ白に変わります。これが雨の日にはとても風情のある雰囲気に変身。花が終わると何の変哲もない目立たない草に戻る不思議な花です。

アガパンサス：薄い青紫色の花。50年くらい前には冬の寒い時期は屋内に入れて育てたのに最近では温暖化で地植えでも大丈夫です。

そのせいかあちこち見かけるようになりましたね、淡いブルーの花はとても涼しげです。うっとりしい梅雨の時期に嬉しい花々です。

前田（延）



原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>鈴木か、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和5年7月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部